

NO!リニア

No.40

2011年 3月29日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

東日本大震災で証明された リニアのバイパス論の崩壊！

東北・関東を襲った大地震により、福島第一原発の事故という取り返しのつかない非常事態が引き起こされました。この事故により、電力不足は深刻な問題となり、計画停電が実施され、経済に大きな影響を与えています。特に鉄道は、区間運休、運転本数削減などの影響を受けています。

JR東海が進めているリニア中央新幹線構想は、東海地震を想定し、東海道新幹線が使えなくなった場合、バイパス機能を持たせることが建設目的の一つとされています。しかし、この目的は、東日本大震災で見事に打ち砕かれました。

すなわち、福島第一原発を静岡県浜岡原発に置き換えれば簡単です。浜岡原発は、立地条件から「日本で最も危険な原発」と言われています。津波も間違いなく来るでしょう。

電力不足の中で、莫大な消費電力を必要とするリニアに、電力が供給される保証はありません。全ての住民や企業への電気を停めてまでも、リニアに電気をよこせとはなりません。

仮に、浜岡原発の事故が起きなくても（奇跡中の奇跡ですが）、念入りの検査などにより、原子炉の運転再開までにはかなりの時間がかかります。その時間で東海道新幹線の補修工事ができるのではないのでしょうか。

JR東海は、リニア中央新幹線構想を再考すべきです。

**指摘される浜岡原発の危険性！
電力不足でリニアは運行できるのか？**